

「神の恵みを見る人」

マルコによる福音書 3:20-35

主任牧師：重田 稔仁

<メッセージ>
神の恵みを見る人

聖書は神の独り子イエス・キリストを
神様の恵みを明らかにした神の知恵だと教えています。

「律法はモーセを通して与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたから
である。」

ヨハネによる福音書 1:17

神様の恵みはとは何か。

それは、

人が神様の慈しみを知って、

自らを無条件で尊い存在だと自覚し自らと隣人を尊重できる幸いです！

ではイエス様の教え、その働きを耳にしても神様の恵みが見えないのはなぜでしょうか。

神さまの恵みが見えない理由

神様の恵みを望まないから

神の恵みは時として、ある人にとって望ましくない、不都合な場合があります。そう感じる
人は神様の恵みについて関心を持ちません、すると神様の恵みは見えないのです。

今朝、紐解く聖書のテキストにもそんな人々が登場します。

今朝は、私たちが神様の恵みを見るために必要なことは何かということと一緒に考えてみま
しょう。

朗読 マルコによる福音書 3:20-35

「イエスが家に帰られると、群衆がまた集まって来て、一同は食事をする暇もないほどであ

った。身内の人たちはイエスのことを聞いて取り押さえに来た。「あの男は気が変になっている」と言われていたからである。エルサレムから下って来た律法学者たちも、「あの男はベルゼブルに取りつかれている」と言い、また、「悪霊の頭力で悪霊を追い出している」と言っていた。そこで、イエスは彼らを呼び寄せて、たとえを用いて語られた。「どうして、サタンがサタンを追い出せよう。国が内輪で争えば、その国は成り立たない。家が内輪で争えば、その家は成り立たない。同じように、サタンが内輪もめして争えば、立ち行かず、滅びてしまう。また、まず強い人を縛り上げなければ、だれも、その人の家に押し入って、家財道具を奪い取ることはできない。まず縛ってから、その家を略奪するものだ。はっきり言っておく。人の子らが犯す罪やどんな冒瀆の言葉も、すべて赦される。しかし、聖霊を冒瀆する者は永遠に赦されず、永遠に罪の責めを負う。」イエスがこう言われたのは、「彼は汚れた霊に取りつかれている」と人々が言っていたからである。イエスの母と兄弟たちが来て外に立ち、人をやってイエスと呼ばせた。大勢の人が、イエスの周りに座っていた。「御覧なさい。母上と兄弟姉妹がたが外であなたを捜しておられます」と知らされると、イエスは、「わたしの母、わたしの兄弟とはだれか」と答え、周りに座っている人々を見回して言われた。「見なさい。ここにわたしの母、わたしの兄弟がいる。神の御心を行う人こそ、わたしの兄弟、姉妹、また母なのだ。」

マルコによる福音書 3:20-35 新共同訳

導入 今、朗読したマルコによる福音書 3:20-35 には3つのグループが登場します。

1. 親、兄弟

〈周囲の人々の目〉

他人の評判を気にしてイエス様をとりおさえにやってきた。一家の大黒柱である兄を連れ戻そうとした。

2. ユダヤ人の群衆

〈自分たちの願望をイエス様に投影〉

イエス様をメシアとして歓迎し熱狂していた。イエス様を自分が期待してする世界を実現するヒーローとして見ていた。

3. 律法学者

〈既得権益を失う〉

自分たちの基盤〈伝統的ユダヤ教の律法〉を否定されアイデンティティーを奪われる恐れに突き動かされていた

今、上げた3つのグループに属する人々は神の恵みをイエス様の教えと、その働きに見いだせませんでした。

では、どのような人々がイエス様に神様の恵みを見出したか？それは、イエス様の言葉によれば神のみ心を行う人々です。

「神の御心を行う人こそ、わたしの兄弟、姉妹、また母なのだ。」 マルコ 3 : 35

神の御心を行うとはどういうことか？

神の御心を行うとは、～神が遣わしたイエス様を信じるということ

「そこで彼らが、「神の業を行うためには、何をしたらよいでしょうか」と言うと、イエスは答えて言われた。「神がお遣わしになった者を信じること、それが神の業である。」ヨハネによる福音書 6:28-29

問い：イエス様を信じるとは、
イエス様をこの地上に遣わした神様の願いを受け止め、信頼すること。

母についての証

私の母は中学の教師として40年間働いて家族を養ってくれました。一家の家計は母が担い父は今で言う専業主夫でした。そんな頼りがいのある母でしたが、彼女の家庭教育は上手く行きませんでした。それは母があまりに厳しすぎたからです。その結果、私たち兄弟は誰一人、母の期待に添えるような人生を歩まず、母に反抗し続けました。しかし母は素晴らしい教師でした。それは、成人した教え子たちが口々に教育者としての母に感謝していたことから明らかです。

何故、母は優れた教師たり得たのか。

それは、母が教え子たちに厳しく接しても

教え子たちが母の彼らへの思い、願いをしっかりと受け取っていたからです。

だから、三人の息子たちと違い教え子たちは母の厳しい教育方針に従いその結果、良い人生を歩めたと感謝していたのです。

最後の教え子があることを、母が最後に勤めた中学の卒業式で話してくれたと母が嬉しそうに話していました。

家族問題を抱えて非行に走っていた

1人の少女の証

私たちが受け止めるべき神様の願いとは何か、それは神様は私たちをその独り子のいのちに替えてでも私たちを罪の滅びから救い出す程、私たちを愛しているということなのです。

私たちは、この神さまの願いをどうやって受け止め、信頼することができるのか？

そのための二つのステップを紹介します

1: 自分の願いを横に置く

ある登山家の金言

私はよく判断力が優れているというわれ方をしますが、アラスカの山では判断力はいら
ないんです。自分を殺すというか、五感を研ぎ澄ませて、いかに自然のサインを感じるかが
大事なだけで。そうすれば、今日は遊ばせてくれるのか、それとも待機していた方がいいの
か、アラスカの自然が教えてくれるんです。そこに早く登りたいとか、自分の願望が入って
しまうと、自然のサインを見逃してしまうことがある。

私たちの願望を傍に置くと神様の願いを受け止め信頼することができます。

2: 十字架につけられたイエス様を見上げる

ヨハネ 3 : 15

青銅の蛇のように上げられたイエス様を見上げる

「彼らはホル山を旅立ち、エドムの領土を迂回し、葦の海の道を通って行った。しかし、民
は途中で耐えきれなくなって、神とモーセに逆らって言った。「なぜ、我々をエジプトから
導き上ったのですか。荒れ野で死なせるためですか。パンも水もなく、こんな粗末な食物で
は、気力もうせてしまいます。」 主は炎の蛇を民に向かって送られた。蛇は民をかみ、イス
ラエルの民の中から多くの死者が出た。民はモーセのもとに来て言った。「わたしたちは主
とあなたを非難して、罪を犯しました。主に祈って、わたしたちから蛇を取り除いてくださ
い。」 モーセは民のために主に祈った。主はモーセに言われた。「あなたは炎の蛇を造り、
旗竿の先に掲げよ。蛇にかまれた者がそれを見上げれば、命を得る。」 モーセは青銅で一
つの蛇を造り、旗竿の先に掲げた。蛇が人をかんでも、その人が青銅の蛇を仰ぐと、命を得
た。」

民数記 21:4-9 新共同訳

ジャンカーさんの言葉

イエス様を見上げるのは、簡単！

自分の願いを横に置いて

十字架に上げられたイエス様を見上げるなら私たちは神様の願いを信頼できます！あなた

や、私のためにその独り子を十字架にかけて私たちが罪の滅びから救いだし、私たちが尊い存在として贖ってくださった神様を信頼してイエス様を信じることができます。そしてイエス様を信じで神様の恵みを見るのです。

すなわちあなたや私が無条件に尊い存在だという真実を見ることができるのです！

大谷翔平さんは、素晴らしいアスリート

人間性の持ち主で、誰からも愛されています。それは彼が周囲の尊敬に値する人柄であり、実績を残しているから。

エンゼルスジョー・マドン監督「彼は喜びに溢れている。彼は選手として、ひとつの代表例として野球に必要な存在だ。すべてが彼の時間だ。彼は準備ができている。愛想もいい。彼を本当に好きになる多くのことがある。私は彼が野球を楽しんでプレーしているのを見るのを満喫している」

私たちは大谷翔平さんのような人間ではありません。しか神さまは、あなたや私がどんな人間であっても素晴らしい存在だと私たちが尊んでくださいます。

それが神さまの恵みです！十字架のイエスさまを見上げて神様の恵みに私たちの目は開かせていただき見させていただけませんか。